

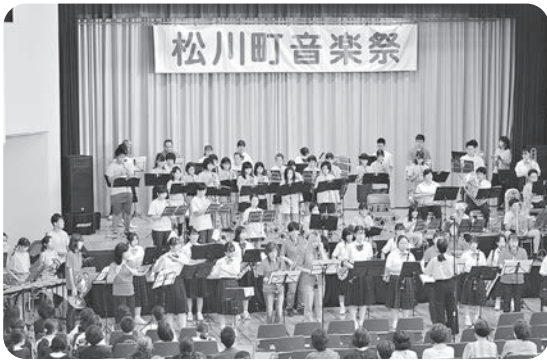


ホトケノザ

館報 まつかわ

松川町公民館報
第725号
令和6年4月15日

町の川 ⑤⑥ 大林井 (中荒町)



松川町の皆さん、こんにちは。
令和5年度本館社会部部长を務めさせて頂いた峯垣と申します。
公民館活動の存在自体を学生時代に学校に隣接していながらも、たまに行く程度で、何をしているかは詳しく知りませんでした。
自分は成人してから日頃お世話になっている先輩方

社会部って何ぞいなの？

令和6年度の事業も人形劇場、音楽祭、研究集会を主体に今年度同様に計画をしています。また皆

にお誘いを頂いたのですが、堅苦しい事が苦手な自分としては最初は入部を少し悩みましたがせっかくのお誘いでしたので入部しました。入ってみて思っていたよりも全然活動がしやすい環境であり、館長から始まり、メンバー全員がとても良い人達ばかりで、みんなそれぞれ職種も違うので貴重なお話を聞けたり楽しく活動させて頂いているので入部してよかったと思っています。
ここで、社会部の活動を紹介したいと思います。
主な事業としましては、8月に人形劇場、9月に音楽祭、2月に公民館研究集会となります。その他に二十歳の集いのお手伝い、ふれあい広場への参加、駅伝大会のお手伝い、健康を考える集会、福祉を考える集会への参加、年に数回街頭挨拶運動、部員会を行なっています。

最後に本館三部あります。がどの部も人数が不足している為、興味がある方は是非お声掛けください。よろしく願います。



さんからのこんな事をしてほしい等ご意見があればこれからの公民館事業の参考にさせて頂き、取り入れていけたらと思っていますので是非町民の皆さんのご意見を聞かせてください。



体育部って何ぞいなの？



駅伝大会

準備から当日運営まで協力して行っています!!



慰労会も楽しいですよ♪



MATSUKAWA-TOWN

編集部のこと

編集部では、毎月公民館報まつかわを発行しています。

館報まつかわは、昭和31年9月に第1号が発行されてから今年で67年目となります。令和4年には700号を迎え、長い歴史があります。

発行当初は町の広報誌としての役割を果たしていましたが、現在では独立したものとなっています。公民館活動や地区行事など、町民の皆さんに親しみをもってもらえるような話題の情報発信を心掛けています。

長年親しんでいただいている館報ですが、「ここが見どころ」と、いうところを今一度ご紹介させていただきます。

なんととってもまず初めに目を惹くのは、表紙の写真です！表紙一面に松川町で撮影された写真を掲載しています。ここ数年は町の川をテーマにしています。四季折々、町内の様々な場所

撮影された写真は、「こんな綺麗な場所があつたんだ」と、新たな発見に魅せられます。年初めにはその年の干支に因んだものなど、十五夜にはお月様の写真など番外編もあり毎月が楽しみにになります。

続いて、2・3面の特集ページです。特集では町内で行われた行事や旬な話題を掲載しています。そして、旬な話題の中でも、個人や団体に注目した記事が7・8面のひと、なかまたち、すぽつとです。「この記事でも、こんな活動をされているんだ」など新発見があります！

このほかにも、ご紹介しきれない部分もありますが、町の歴史などを紹介する資料館だより、小中学生から寄稿いただいた作文や詩など、見どころたくさんあります。面となっています。

これからも楽しんで読んでいただけたら幸いです。館報まつかわは9名の編集部員を中心に作成しています。メンバーは20代から



60代まで幅広く活躍しています。作成にあたっては、企画、割付、校正など月に3回程会議を設け、加えて記事の取材を行っています。取材では地域へ出向き、実際に聞いて聞いて体験するなど、これもまた編集部ならではの魅力です。

そんな編集部では、一緒に活動してくださる仲間を随時募集しています。活動の中で松川町の新発見もあり、楽しく活動しています。ぜひ一緒に楽しく館報を作りましょう！

スポーツフェスティバル

地区公民館へのニュースポーツ普及や町民の皆さんの運動促進などを兼ねて企画運営しています♪



トランポリン教室

受付や運営補助をしたり…

小八郎登山

安全に配慮して一緒に登ったり…



令和5年度 公民館功労者表彰



田中伸幸さん
大島地区協議会



小笠原章文さん
中央公民館



和田章吾さん
中央公民館

中央公民館・各
地区公民館の活動
にご尽力された13
人が表彰されまし
た。



樋口岳司さん
名子地区公民館



宇治田秀人さん
上新井地区公民館



松村毅さん
古町地区公民館



丹羽省二さん
古町地区公民館



宮下貴弘さん
上大島地区公民館



片桐章さん
上大島地区公民館



望月貴生さん
名子地区公民館



宮島稔秋さん
名子地区公民館



杉山行孝さん
(生田地区協議会)
部奈地区公民館



北沢達哉さん
上大島地区公民館

私が考える公民館というのは、区がハードの部分を担当し、公民館はソフトの面を担当するというものです。
人間はいつまでも、考えるそして学ぶということが必要で、そういう考えるヒントを提供し続けることが非常に大事だと思います。
みなさんにちよつと問題を出します。
①ノーベル賞の中に数学賞はありません。なぜでしょうか？
②国民の祝日には、「の」が入らないような「の」が入らないものが3つあります。なんでしょうか。
功労者表彰 表彰式
受賞者代表あいさつより

清流苑

SEIRYUEN
SHINSHU MATSUKAWA
ONSEN
町営

リニューアルオープン

令和6年3月1日

一階ロビー

入口に新しく張られたのれんをくぐりリニューアルされた清流苑の中へ。
下置き場は、宿泊と日帰り分りやすくなり、喫煙スペースが無くなった分、広く明るくなった印象。



新しくなったロビー

新ユニフォームに関して
スタッフの方は…

「星野リゾートのようだと少し慣れてきました。オールシーズンこのままです。」



ユニフォームも一新

「清流苑を訪れたお客様に感想をお聞きしました。
「へえー、何かすごく明るくなったんじゃないですか？全体的に広く感じる…面積変わってないですよ、天井の高さかな？」
「床が柔らかいよね、ふわふわしてて気持ちいいし」
— 名古屋からのご夫婦

「前の感じですつと来ていたので、落ちつかないかな、すぐに慣れると思うけど」
「待ち合いのソファが少なくなった気がする。」
「レストランのメニュー見本の棚が無くなって残念」
— 60代の地元主婦

開設した頃から知っている地元の人達からは「前の感じが懐かしい」というお声が多かったようですが、ロビーに立ってみて、これからの清流苑を私達町民の手で盛り上げる事が大切なのかな、と感じました。



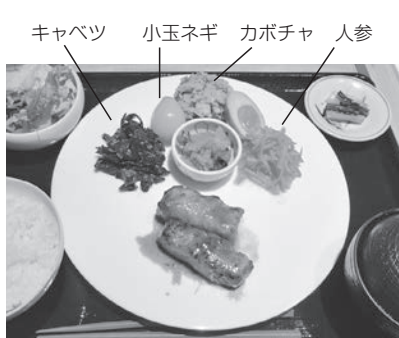
自販機も木目調に一新

新メニュー 梨花 RESTAURANT RIKA



アルプスサーモンの酒粕味噌ホイル焼き

アルミホイルを開けたときホワッと香った酒粕の匂い。熱をかけたアルプスサーモンの繊細な香りを邪魔しない柔らかな味わい。



飯田こうや豆腐の南信州豚肉巻き

薄味のこうや豆腐に味の付いた焼き肉がマッチしていてこれいけるじゃん」と感じ（もう一本あったもいいなあ…）、見た目以上に満腹感を得ました。



南信州豚しゃぶサラダ

南信州産の豚肩ロース肉の豚しゃぶに飯田名物のねぎだれをかけた料理。やわらかい肉とたれのかけ合わせがとても美味しく、ご飯が進みます。



松川産フルーツワッフル

贅沢に果物を使ったスイーツ。季節ごとにどんな果物が出るとか楽しみですよ！



期間限定のパフェ2種 (3/1~3/31)

20年間ありがとう

ございました

元名子原体育館管理人 松下勝子さん

これまで20年もの間名子原体育館の管理人を務めていただいた松下さんが3月末をもって退任されました。

管理人としての仕事は、体育館のカギの開閉や施設内外の環境整備等多岐にわたります。特に、体育館の利用があれば毎日でも鍵の開閉を行わなければならないが、さらに突発的な利用にも対応しなければならぬ気苦労の多い仕事で

す。

お孫さんが陸上で町の代表として走ったことをきっかけに、自分も何か町に貢献できればと思い、始めたという管理人業務ですが、利用者の方が元気に体育館を使ってくれるのが何よりのやりがいだったようです。

長い間本当にお世話になりました!!

俳句

さくら茶

鋤柄 郁夫(宮坂)

両親の歩幅に跳ぶや入学見

さくら茶や新任教師集ひたり

春愁やスクラレブルの交差点

イヌフグリ吾は咲くなり空の色

箱の草笛よ流れくる城址



スポーツ

第50回松川町矚矚弓道大会

3月3日(日)

団体戦

優勝 大藏 壽春(松川町)

高島真由美(飯田市)

藤澤 敏子(飯田市)

南島 健(松川町)

三石 正博(飯田市)

3位チーム

野牧 初彦(松川町)

福島 文雄(高森町)

亀谷 静江(飯田市)

個人戦

優勝 森岡眞理子(松川町)

三石 正博(飯田市)

小松 哲(飯田市)

亀谷 静江(飯田市)

松島 一夫(飯田市)

5位 笠原 武明(松川町)

射詰賞

まつかわ大学 2024

令和6年度 第19期 第1講座

人々の生きる土地に根付いていた民謡。北は北海道から南は沖縄まで各地で謳われてきた唄を三絃の音と共に紹介します。

民謡歌手

剣持雄介

けんもち ゆうすけ

民謡-Uta-の旅

～音心伝心～

6月15日(土)

12:45～開場 13:30～開講式・講演会

松川町中央公民館 えみりあホール

お申し込みは ☎36-2622(中央公民館)まで

小八郎に登ってみよう!



日時: 5月18日(土) 午前9時～
申込: ☎36-2622(中央公民館体育部)

まつかわ大学

第2回は 若宮正子さん!

開催日 9月7日(土)

世界最高齢のプログラマーとして活躍中!!



地域を知る講座 身近にある自然は宝物



およりの森で 森林セラピーを 体験しよう

日時: 5月12日(日) 午前8時30分～
申込: ☎36-2622 (中央公民館)

第59回
公民館研究集会

第2弾 ワールドカフェから

一人ひとりが思う魅力…こうあってほしい…

自然・立地

- ・両方のアルプスが見え贅沢な所
- ・風景・空気・水・夜空 自然豊かでもともよい
- ・自然がいい いくつになっても発見がある
- ・水が違う 水がうまい 味が違う 生田の水
- ・町内でも場所を変えるといろいろな見え方がある
- ・魅力はくだもの 新鮮な農産物が買えるのが魅力
- ・松川を離れてわかる、空気よさ 綺麗な山並
- ・松川は伊那谷の真ん中、インターもあり立地は良い
- ・陸の孤島かと思ったら、東京・名古屋・大阪どちらに行くのも同じ距離
- ・リニアが開通すれば都会に近い田舎となる

町の魅力

人

人のつながり

- ・何もないから人のつながりが強く、周りの人と関わりがある
- ・消防団に入ってから人の輪が広がった
- ・子どもも大人も挨拶がかわせる町
- ・素直な人柄、誘惑のない町
- ・松川は居酒屋が多くいろいろな人に会える
- ・人とのふれあい、消防団、公民館等のつながりで交流する場がある
- ・同世代の人でつながりの強さを感じる
- ・人が優しい
- ・自治会の人優しい
- ・行事やつながりを頑張っているから人がつながる
- ・松川や下伊那は公民館活動が盛んで 学びや人との交流、つながる場になっている
- ・地域への思いのある方が多い

地域の課題

- ・少子高齢化 人口減少 若者の流出
- ・生活の基盤となる収入を得る働く場が少ない Uターンを考えても不安
- ・自治会や組合が崩壊しつつある
- ・伝統行事が少なくなり、子ども達とのつながりが減っている
- ・情報発信が弱い 住んでいる人も知らないことが多い
- ・移住支援が近隣市町村と比べて弱い
- ・子育て支援をもっと充実してほしい 様々な支援があるのに情報が薄い
- ・人によりけりだが、景色の良さは良くても、アクティビティ施設が少ない



今後に向けて こうあってほしい!

- ・松川のことをもっと知ろう (出かけ・見て・体験し・学び・出逢う)
- ・保育園・小学校・中学校で松川を知る教育や体験を通じて郷土愛を育てる
- ・町民の中で魅力を共有することが大事 大人が町を好きになる⇒子どもに伝える ⇒子どもが町を好きになる
- ・若い子の体験、きっかけづくり 学生や若者と共に企画し共に行動
- ・頻繁に起きている大きな災害により被災地の姿を見た時、人・地域のつながりが大切
- ・情報発信 松川に住んでいる私たちがいかに松川を知り情報発信していけるか
- ・住んでいる自分達が松川町に魅力を感じられるようにしていくこと
- ・住む地域に愛着を持ち価値観を認め合うこと
- ・地域の魅力はなんといっても 人

*豊かな自然環境、気候や風土のよさ、治安や風紀がよく、多彩なくだものがあり、文化や歴史のある、人がつながり人にやさしいそんな魅力ある松川町。
魅力あふれる松川町を多くの人に発信していきましょう!!

初！5町村公民館共催！

3月23日(土)、松川町、高森町、豊丘村、大鹿村、中川村の5町村の公民館共催事業として、伊那坂東三十三番札所巡りin大鹿村が開催されました。

かねてより、5町村にまたがり存在するこの札所を活かした取り組みができないかと、公民館担当者で数回の学習会を行い、今回の実施に繋がったとのこと。

今回は、33ある札所のうち、14か所が存在する大鹿村で、5つの札所(塩泉院、三十三所堂(跡)、観音堂、福聚庵、円通殿)を巡るコースで実施

伊那坂東三十三番札所

安永年中(1772) 1778)に片桐村の住民からの発願により、天明元年(1781)に伊那坂東三十三番札所として設定される。中世後期以来次第に盛んになった巡礼習慣の波に乗って設定されたものと言われている。

伊那坂東三十三番札所巡りin大鹿村

されました。

5町村内外から29名もの参加申し込みがあり、多くの方の関心をひかれていたようです。



まさかの・・・!!

当日はまさかの降雪により、集合場所から見える景色は一面真っ白!

吹雪が舞い、次第に雨に変わるといった不安定な空模様。寒さも厳しい中でしたが、それでも多くの方が参加されました。

普段はなかなか見ることができないお寺の中や掛け軸なども見せていただくことができ、参加者の皆さんも興味



津々といった感じでそれぞれの場所を見られていました。

今回は降雪もあり、予定していた5か所は回れず、4か所を回りました。

5町村公民館で共催して行う初めての事業とのことでしたが、参加者の顔ぶれも普段とは異なり、見える景色、訪れる場所、学ぶ内容、すべてが新鮮で貴重な体験となりました。

札所だけでも残り29か所!そして札所以外にもそれぞれの町村には多くの魅力があります。

同じ中部伊那地域に住むもの同士、これからもこういった活動を通してお互いのことをもっと知れたらいいと思います。



まさかつ、まさかのつ...

雪道で1台がまさかのスタック! 乗客は乗り換えて事なきを得ましたが、昔の人はこういった険しい道も歩いて登っていたことにおどろきです。



2025年

2年前の3月26日。体調の異変を感じた最初の日。8日に打ったコロナの予防接種のせい?などと考えたのは今まで感じたことのない倦怠感、疲れには強いと思っていた私でも、職場の倉庫を歩きながら地下深く引き摺り込まれるような感覚に襲われたり...(ホラーではありません)続いて下痢。1週間が経つ頃には、全身に力が入らなくなり横になると寝返りが打てなくなり車の運転はもちらん無理。移動も何かにつかまらなければ困難に。病院受診も車イスのお世話になり...この頃には力が無くなったため正常な姿勢を保つこともできない。このままダメになると思っていました。

2週間後、ギランバレー症候群と暫定診断され、緊急入院で点滴治療を始めた時の先生の言葉は今でも忘れません。

「検査結果を待つて手遅れになるより今出来る限りのことをします」コロナで大変な生活を送っていた医療関係の皆様には、感謝してもしきれません。

まだまだ全身に力が入らない状態は続きそうですが、少し運転マニユアル車です)している現在は幸福です。毎日の相棒は13才のモモ(猫)。同じ年頃の1匹と1人は主人に笑われながら、漫才のような毎日を過ごしています。(宮下和子)

公民館報

「まつかわ」

第 725 号

令和 6 年 4 月 15 日

発行所 松川町公民館
責任者 山崎 隆
編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@town.matsukawa.lg.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷株式会社

再生紙を使用しています。

伊那坂東三十三番札所については、館報688(令和3年2月号)の記事をご覧ください。

